ホワイトボード・ミーティング®

ベーシック(3級)検定 筆記試験 模擬問題(第2版)

受験番号	
なまえ	

株式会社 ひとまち

- 1. 以下の(1)~(18)に当てはまる言葉を書きなさい。
- ① ホワイトボード・ミーティング®は、(1)年にちょんせいこが開発した会議の技法です。進行役をファシリテーター、参加者を(2)と呼びます。
- ② これまでの会議や学びは、(3) が一般的でした。一方、ファシリテーターのいる場はらせん状の(4) の組織づくりを進めます。組織の運営や学びの場には、(3) と(4) の両方が必要で、(4) で進めると(3) のクオリティも(5) するのが特徴です。
- ③ ファシリテーターは中立、(6)、対等な立場で話しあいのプロセスを作ります。 成熟した会議はファシリテーターの力(7)、(2)の力(8)の割合で活躍しながら進 むと言われています。
- ④ ホワイトボード・ミーティング®は6つの会議フレームがあり、熟練したファシリテーターは、これらを1枚のホワイトボードにプログラムデザインしながら話しあいを進めます。6つの会議フレームは以下の通りです。
 定例進捗会議 / 役割分担会議 / 企画会議 / (9)会議 / (10)会議 / (11)会議
- ⑤ ファシリテーションには以下の6つの技術があります。

⑥ 会議の途中で意見が出にくくなったら(17)をします。良好なコミュニケーションは、 学びを深め、個人や組織の成長を促進します。しかし、良好なコミュニケーションは自然 発生はしません。組織がスタートしたら、会議の場面以外でも最初に作戦をたて、良好な コミュニケーションを育む(18)を作ります。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)

2	ホワイトボード・ミーティング®の進め方について、正しいもの 違っているものに×をつけなさい。	DIEC)、間
1	ファシリテーターは最初に出た意見は特にひろって書きます。同じ話が繰りたときは、何度も書くことを大切にします。	返し ₍	出てき)
2	参加者が発言しにくそうなときは、ファシリテーターが参加者の思いを汲み わりに意見を言います。	·取っ` (て、代)
3	参加者は言いたくない意見も言えるように努力します。	()
4	発散は時間の許す限り丁寧に行います。	()
5	ファシリテーターは一人ひとりの意見をホワイトボードに書き分けます。	()
6	ファシリテーターは大きな声は大きく書いて、小さな声は小さく書きます。	()
7	議論の進め方がわからなくなった時は、ファシリテーターは参加者の力を借	うりま [、] (す。)

3 下線部の状態を説明する適切なエピソードの例を記入しなさい。

体に体力があるように、私たちの心にも体力のようなものがあります。体は「強い、弱い」と表現しますが、「心の体力」は温度で「温かい、冷たい」と表現します。「心の体力」が温かいと私たちは、何ごとにも意欲的に取り組めます。

エピソード(1)

逆に「心の体力」が冷えていると何ごとにも意欲的になれません。<u>「心の体力」が冷えて</u>本人にパワーがないと以下のようになります。

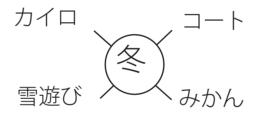
エピソード②

また、「心の体力」が冷えて本人にパワーがあると以下のようになります。

エピソード③

この「心の体力」が冷えている2つの様子は両極端に見えますが、いずれも「心の体力が冷えていて本人にパワーある」「心の体力が冷えていて本人にパワーがない」と分析します。「心の体力」はいろんなもので温かくなったり、冷たくなったりしますが、一番、大きな影響力をもつのは、日常のコミュニケーションです。体の体力が、今日一日だけごちそうを食べても健康にならないのと同じで、毎日の家族や友達、職場などでの普通のコミュニケーションの積み重ねが「心の体力」を温めたり、冷やしたりします。

4 「冬」の構成要素について、第2階層「コート」の第3階層について書き、そのうちのひとつを第4階層まで書きなさい。(1問10点)



5 ホワイトボード・ミーティング®を広めるための効果的な方法を「エンパワーの法則」を用いて書きなさい。

<エンパワーの法則>

まずは失敗ゼロにする→小さな成功体験を積み重ねる→大きな飛躍にチャレンジ

筆記試験 模擬問題解答

- 1. 以下の(1)~(15)に当てはまる言葉を書きなさい。
- (1) 2003年 (2) サイドワーカー
- (3) トップダウン(4) ボトムアップ (5) アップ
- (6) 公平 (7) 3 (8) 7
- (9) 情報共有 (10) 課題解決 (11) ホワイトボードケース
- (12) インストラクション (13) クエスチョン (14) アセスメント
- (15) フォーメーション (16) プログラムデザイン
- (17) ペア・コミュニケーション (18) プロセス

☆1問2点(全問正解36点)

- 2. 正しいものに〇、間違っているものに×をつけなさい。
- $(1) \times (2) \times (3) \times (4) \times (5) \times (6) \times (7) \bigcirc$

☆1問2点(全問正解 14 点)

3. 下線部の状態を説明する適切なエピソードの例を記入しなさい

<エピソード①の例>

毎日の仕事も意欲的に取り組むことができるし、失敗をしてしまった時も、同僚や先輩にす ぐに相談をしてアドバイスや協力を得て課題解決にあたることができます。

<エピソード②の例>

少しの失敗でも「わたしには向いていない」「無理」と自信をなくしてしまい、仕事に自信や意欲をなくしたり、すぐに退職するなどします。

<エピソード③の例>

仕事の失敗を他人のせいにしたり、まわりに八つ当たりを繰り返すなどします。

☆ 1問5点(全問正解15点)

4. 「冬」の第2階層「コート」について。第4階層まで書きなさい。

<解答の例>

【第3階層】10点

- 1ダッフルコート
- 2 レインコート
- 3ダウンコート

【第4階層】10点

- 1小学3年生の頃、公園にレインコートを忘れた
- 2友達とドッチボール をしていて夢中に
- 3玄関で忘れた!と気づき、あわてました

5. ホワイトボード・ミーティング®を広めるための効果的な方法をエンパワーの法則を用いて書きなさい。

<解答の例>

自分の所属する団体では、まず、一緒に取り組める仲間を2~3人作ります。

そのメンバーで定例進捗会議や小さな打ち合わせを「失敗 OK」な環境で経験を積み、ファシリテーターとしてのスキルを身につけていきます。

その後、ホワイトボード・ミーティングで進行出来る会議を選んで、少しずつ実践し、周囲にも効果を体感してもらうことで、少しずつ関心を持ってもらいます。

関心が高まったタイミングで研修会や講座を開催し、全体的にホワイトボード・ミーティングを広げていきます。

また、ツールを準備しておくことも重要です。例えば、ホワイトボードに何も貼らないなど書きやすい環境を整えておきます。また、きちんと書けるマーカーを揃えておき、いつでも取り組めるようにします。定期的にスキルアップをめざして講座に参加することも有効です。

☆15 点